

令和五年 入学式 告辞

九州産業大学造形短期大学の新生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また、これまで皆さんを温かく見守り、支えてこられました保護者・ご家族の皆様にご心から敬意を表しますとともに、お慶びを申し上げます。

九州産業大学造形短期大学部は芸術系短期大学として五〇年を超える歴史と伝統を持ち、卒業生は一万人を超えています。皆さんの多くの先輩たちは、デザイナーやカメラマン、造形作家など、それぞれの分野で活躍しています。皆さんもこの短大でのびのびと学び、夢を実現し、先輩たちに続いて立派なクリエイターとして活躍できるよう頑張ってください。私たち教職員は全力で皆さんをサポートします。ともに充実した二年間を作っていきましょう。本学の学びは一学科三領域一〇系列という独自のカリキュラムです。一年生は一人ひとりの目的や興味に合わせ、学ぶことが出来ます。ぜひ積極的に興味ある科目を履修し、幅広い分野の基礎を身に付けてください。そして、自分の適性や目標を見極めて、専門分野となる「系列」を決めていってください。二年生で選択した系列での卒業制作に取り組むのですが、様々な分野での学びが自分の専門を深く研究していくうえで、非常に大きな力になります。また、多様な分野を学んだことで、それらを融合した作品を制作することもできます。それもまた、本学ならではの大きな可能性です。今日はDX(デジタルトランスフォーメーション)社会への急速な進展が言われ、コロナ後の社会、国際情勢の流動化などと相まって、大きな変革期を迎えています。新しい時代が皆さんを待っているのです。多くのことがAIやIoTにとってかわられ、人々の生活や仕事も急激に変わっていくのかもしれませんが、未来を予測することはなかなか難しいですが、ひとつ言えることがあると思います。これからの社会の中で、我々人間に必要とされることは何か、それは「創造力・生み出す力」そして「表現力・発信する力」だということです。イマジネーションの力、クリエイティブなものづくり、表現し、発信し伝えていく力、それこそがコンピュータやAIではなく、人間の力、「人間力」として一人ひとりの人生を豊かにし、そして、平和を願う人々の思いを具現化すること等も含め、社会を豊かにしていく力となるのです。更に、もうひとつ大変に重要なことがあります。それは、そのような造形芸術の学びが大変に面白いということです。好奇心を武器に楽しく学びましょう。

本学には九州産業大学の各学部で学ぶことができる特別履修制度があります。また、「未来学」や「SDGs」に関わる文系・理系・芸術系を融合した学びもスタートしています。

この短大で生き生きと学び、「創造力」そして「表現力」を身に付け、磨き、自分自身と社会の道を切り開いていく人になっていただきたいと思います。皆さんの短大での生活が新たな体験、新たな出会い、そして様々な発見で楽しく充実したものになることを心から願ひまして、お祝いの言葉といたします。

令和五年四月一日

九州産業大学造形短期大学部 学長
小田部 黄太